

山形県スポーツ少年団

平成元年3月25日発行

No. 5

# 大空に翔る

発行  
(財)山形県体育協会  
山形県スポーツ少年団  
山形市松波2-8-1  
☎(0236)30-2894  
印刷 株大風印刷



初めての挑戦

# スポーツ少年団で学んだこと



少年たちの自由時間活動を、スポーツを中心とした方法  
地域社会の中に保障しようというのが、スポーツ少年  
団です。スポーツを行うとき、少年たちはスポーツを自ら  
すすんで行う自由な行動として、全身を打ち込み、スポー  
ツの中で自分の力を限りなく伸ばしていくことに大きな歓  
びを見出し、満足感を味わっています。このようなスポー  
ツのもつ本質的な意義が、少年たちを立派な人間に形成し  
ていく源泉となり、スポーツ少年団は、青少年期における  
人間の人格形成を主眼としており、発育発達期にある少年  
たちの健康なからだと心を育てることにあります。そこで  
今回はスポーツ少年団の先輩の体験を特集してみました。

## 自分を大きくアピールしたい



山形商業高校

花輪 亜希子

うしろくらしい。

私が少年団に入ったときか  
けは、時々姉について行って  
ボール拾いをしていたのが、  
「うてーい。」  
いつものまにか楽しくて、

楽しく、時には厳しく、だっ  
た少年団。学校に来て友達と  
おしゃべりする次に楽しみ  
な事でした。放課後が待ちど  
毎日行くようになりました。  
何が楽しかったかといわれる

と、バレーをすること自体が最高に楽しいし、低学年の自分から見たらすごく大きく見える六年生といっしょに話をしたりすることができると話した。

父と母もバレーをしているので家族の団らんは、その話でもちぎりでした。

入団したばかりの時は、いつも基礎練習、オーバー、アングラーの姿勢。五、六年生がレシーブ、スパイクをしている時はいつもボール拾いでした。その時の指導者が高校生のお兄さんで、

「ボール拾い頑張るとうまくなっぞ。」

と言われ、その時は冗談だと思っていました。スパイクのボールを素早くよんで拾えば、レシーブのよみの練習にもなるのです。

初めての試合の時、私は応援でしかたを覚えていません。結果は負けましたが、目標ができました。他の小学校が自分達より一段上のプレイをしていたのです。

何回かの練習試合、スポー



▲サーブ優勝を目指してがんばった

でも目標をもつてやるといふことです。

私は、ライオンカップに毎年出場している、滝山小学校が目標でした。中学校で

その仲間と一緒にになり、全国大会を目指しましたが達成できず、今、山商で全国の壁に向けて、練習

に励んでいます。今、私が、全国のレベルに挑戦することができるとも、小学校で少年団に入っ

ていたからだと思えます。だから中学校でも仮入部など考

えず、バレー部に入部したのです。少年団は弱かったかもしれませんが、何らかの形で、今の私に大きく影響を与えて

くれているのだと思えます。小学校のいくつかの文集で私の作文は、ほとんどといっ

ていいほどバレーのことです。小さい頃から体を動かすことが好きだった私は、少年団に入

った事で、今、バレーを通して、自分を大きくアピールしているのだと思えます。

## 根性、師弟それに友情

飯豊町剣道スポーツ少年団



手塚 紀洋

私がスポーツ少年団で学んだことといえば、三つほどあると思っています。

一つ目は、根性である。皆さんもご承知のことと思うが剣道は、猛暑の中の「暑中稽古」、真冬に行く「寒稽古」などがある。暑中稽古は、途中で気持ちが悪くて、吐きそうになったこともある。がしかし、一番厳しいのは、やはり寒稽古である。真冬の吹雪の中、道着一枚を着て、泣きながら練習に行ったこともある。そして練習が終わるたびに、「来てよかった」と思ったものだった。そして、ほんのちよつと根性がついたような気にもなった。

二つ目は、師弟関係についてである。私は、小学校五年生の時に剣道を始めたが、その時まで、先生とは友達の一種だと思っていた。がしかし、剣道スポーツに入ってから、「教える側」と「教えられる側」との区別がはつきりした。スポ少では、剣道の技だけでなく、礼儀や、行いなども教えられる。

私の恩師の中の一人である「舟山先生」は、いつもことあるごとにこうおっしゃっていた。「勝つだけの剣道ならいつでも教えてやる。だが、それだけなら剣道などやる必要はない。」と。

私は不幸にして、幸福ともいえるのか、同世代の友達が一人もいなく、いつも練習は先生とであったが、そのため先生とのふれあいは深かったように思う。

三つ目は、やはり「友情」である。私は、高校一年生になるまでは、決して友達が多いわけではなかった。が、中央リーダーズスクールや、西独派遣において、すばらしい仲間に出会った。

リーダーズスクールでは、スポ少活動で、剣道をしているだけでなく、いろんなことをしている人と出会った。また、単位種目だけでなく、複合種目の活動や、「リーダー会」という組織があるということも聞いた。このことは私のスポ少の理念に大きな影響を与えた。

そして、リーダーズスクール終了後、これを通じて知り会った友達の家遊びに行ったり、突然決まったことだったが、相手の家の方々は快くこのやっかい者をお世話して下さった。そして、私の母が相手の母親にお礼の電話をする、「いつかはうちの息子もどこかで誰かにお世話になるんだ、お互いさまですよ」とおっしゃったそう。すばらしい人達に巡り合ったものだと心から思った。

また西独派遣では、新たなすばらしい仲間の他に、西ドイツの人達とも仲良くなれた。手紙を通してまだ私は西独交流を続けている。

全体を通して得たことに、経験がある。スポ少を通して得た経験はとても大きい。特に、リーダーズスクールと西独派遣において得たものは大きい。

北海道から一人で帰ってきたことや、上野で迷子になって新幹線に間に合わなかったことや、西ドイツで英語をたくさん話したことは、私自身に、どれだけの影響を与えたことか。

スポ少に入ってから、つらく苦しかったことも多々あった。しかし、ふり返ってみるととてもよい思い出だったように思う。今、スポ少活動をしてる人も、これから始めようという人も、苦しさばかりでなく楽しさも知って、いろんな経験をしてもらいたいと思う。

## スポーツが好き!!

### 私の選んだ道



寒河江中部小やまほうし

#### 難波 明子

なに？スポーツ少年団ミニバス募集!?。渡された紙にびっくり仰天しました。私が小学校六年生の時、寒河江中部小ができて、輝かしい第一回小学年として入って間もなくの頃の出来事でした。スポーツ少年団の存在も知らない私は、友達四人と当然のようにワクワクしながら入団したことが、この間のように思えます。

夏の暑い事は我慢できるのですが、辛いのは冬。友達と雪を踏み踏み体育館まで通ったものです。

でも、その辛いことなのになぜか一回も休まず朝六時に起きて行ったのか、今でもなんでだろう?と思うのです。そして一年が過ぎ、中学に

行った私ですが、前期中央リーダーズスクールに参加したのがきっかけです。そこで私は出会いと仲間の大切さ、そして人の上に立つ事の重大さを教わったのです。

今まで山形以外の友達なんていなかった私にとって、次々に他県の人々、なまりの入った言葉で仲良くなるのは本当に楽しいものでした。毎日練習する団から月一回の活動まで、いろんな話を聞いて、見て、また後期のスクールで会おうかと。

後期リーダーズスクールでは日本全国の十六歳から二十一歳までのシニアリーダーが集まり、スポ少活動について話し合い、いろいろなことを体



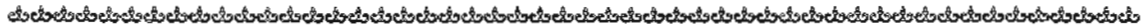
▲西ドイツを訪ねて

験したのです。  
 高校生活も終わろうとする頃  
 社会に出ようか、学校に進も  
 うかと迷っていた私に、そん  
 な経験が、子供たちと接する  
 事、指導できる事を職業にで  
 きないかと思わせたのです。  
 その結果、この体験を生か  
 し子供と一緒に過ごすため進  
 学を止め、今の職業のサガエ  
 スイミングクラブに入社した  
 のです。  
 スイミングクラブでは、子  
 供たちの指導を主とし、一般  
 の方へのレッスンと指導とい  
 うプロの世界が待っています。  
 た。  
 約一時間という少ないレッ  
 スンの間、水泳を通して少し  
 でも子供たちを判ろうとすれ  
 ばするほど焦ってしまつた一  
 年。仕事に慣れて本来の私の  
 役割を忘れてしまった二年目  
 今、この職業を選んで、な  
 ぜこの道に入ったのかを考え  
 てみると、スポーツ少年団  
 のときの辛い冬の道を通つた  
 頃を思い、スポ少が本当に楽  
 しくて、ミニバスケが好きで  
 毎週日曜の朝が待ちどろしく  
 て、先生に教えてもらいたく

昭和63年度山形県スポーツ少年団登録状況

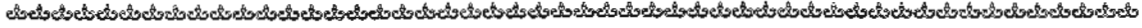
団 数	団 数(団)		団 員(人)			指 導 者									計
	更新	新規	計	男	女	計	男			女			計		
							更新	新規	計	更新	新規	計			
総 数	850	63	913	21,111	11,357	32,468	3,912	1,119	5,031	300	176	476	5,807		
東南村山支部	225	14	239	5,460	2,315	7,775	848	309	1,157	53	36	89	1,246		
山 形 市	135	8	143	3,542	1,367	4,909	510	202	712	35	25	60	772		
上 山 市	23	3	26	524	250	774	91	34	125	5	5	10	135		
天 童 市	46	2	48	988	437	1,425	169	59	228	11	5	16	244		
山 辺 町	15		15	189	128	317	48	6	54	2	1	3	57		
中 山 町	6	1	7	217	133	350	30	8	38				38		
西 村 山 支 部	63	3	66	1,539	817	2,356	296	53	351	11	15	26	377		
寒 河 江 市	23	2	25	612	291	903	125	30	155	1	8	9	164		
河 北 町	19		19	442	292	734	69	13	82	7	4	11	93		
西 川 町	4	1	5	103	53	156	25	1	26	1	1	2	28		
朝 日 町	11		11	236	136	372	50	8	58	2	1	3	61		
大 江 町	6		6	146	45	191	29	1	30		1	1	31		
北 村 山 支 部	73	10	83	2,221	1,019	3,240	370	105	475	30	17	47	522		
村 山 市	19	2	21	561	125	686	102	34	136	3	2	5	141		
寒 根 市	23	6	29	721	424	1,145	114	47	131	23	9	32	163		
尾 花 沢 市	25	1	26	745	396	1,141	132	41	173	4	6	10	183		
大 石 田 町	6	1	7	194	74	268	22	13	35				35		
巖 上 支 部	73	4	77	1,913	1,244	3,157	364	155	519	24	25	49	568		
新 庄 市	25	3	28	631	317	948	95	49	144	7	7	14	158		
金 山 町	6		6	187	132	319	38	17	55	1	2	3	58		
巖 上 町	11	1	12	227	158	385	61	23	84	1	4	5	89		
舟 形 町	5		5	196	151	347	30	14	44	1	1	2	46		
真 室 川 町	8		8	243	156	399	60	11	71	4	2	6	77		
大 蔵 村	4		4	94	72	166	20	1	21	1		1	22		
桂 川 村	9		9	142	93	235	22	25	47	1	4	5	52		
戸 沢 村	5		5	193	165	358	38	15	53	8	5	13	66		
東南置賜支部	89	8	97	2,264	1,062	3,326	523	144	667	47	20	67	734		
米 沢 市	42	3	45	1,115	396	1,511	210	52	262	24	10	34	296		
南 陽 市	16	2	18	338	235	573	80	48	128	9	2	11	139		
高 島 町	12		12	375	187	562	128	15	143	5	3	8	151		
川 西 町	19	3	22	436	244	680	105	29	134	9	5	14	148		
西置賜支部	59	13	72	1,548	790	2,338	303	127	430	21	19	40	470		
長 井 市	20	7	27	688	241	929	110	48	159	8	8	16	175		
小 国 町	7		7	157	100	257	22	10	32		2	2	34		
白 鷹 町	20	6	26	487	329	816	114	57	171	4	4	8	179		
飯 豊 町	12		12	216	120	336	57	11	68	9	5	14	82		
庄 内 支 部	268	11	279	6,166	4,110	10,276	1,206	226	1,432	114	44	158	1,590		
鶴 岡 市	77	2	79	1,743	1,049	2,792	341	59	400	41	10	51	451		
立 川 町	8		8	145	95	240	68	6	74	1		1	75		
余 目 町	17		17	323	185	508	50	7	57	2	1	3	60		
藤 島 町	7	2	9	232	108	340	33	12	45	2	5	7	52		
羽 黒 町	9	1	10	229	136	365	38	17	55		1	1	56		
朝 日 村	7	1	8	207	148	355	56	9	65	7	7	14	79		
櫛 引 町	10		10	214	206	420	46	11	57	6	5	11	68		
三 川 町	5	1	6	222	168	390	61	20	81	3	1	4	85		
温 海 町	7	3	10	220	161	381	44	10	54	5	2	7	61		
酒 田 市	89		89	1,838	1,197	3,035	311	47	358	38	9	47	405		
遊 佐 町	14		14	307	251	558	57	10	67	1		1	68		
八 幡 町	8		8	164	154	318	24	10	34	3		3	37		
松 山 町	8		8	155	125	280	50	1	51	3		3	54		
平 田 町	2	1	3	167	127	294	27	7	34	2	3	5	39		

まくできた”とほめてもらえ  
 てうれしかったことを忘れて  
 いた私に気がつきました。  
 子供が好きで、水泳を通し  
 てスポーツ好きの子供になっ  
 てほしいと思っていたはずな  
 りに……と。  
 寒い冬も、暑い夏も、楽し  
 くてスイミングが待ちどろし  
 い、そして友達を、仲間を大  
 切にできるような人になっ  
 てほしいと思いつながら、スポ少  
 で学んだ、スポーツが好きに  
 なる事、楽しいから休まず通  
 う事を私の心の基本とし、毎  
 日の指導を大切にしていきた  
 い。それが、あそこに行けば  
 先生たちに会えるという楽し  
 みと同時に子供たちを引きつ  
 けられる魅力のある先生を目  
 指したいと思っています。  
 これからもスポ少を続け、  
 そして学び続けたいと思いま  
 す。



今年もいろいろな交流がありました。みなさんも積極的に参加しましょうね。

# 友好交流



## 友情の輪を大きく広げて

西置賜教育事務所

指導者 芳賀康雄(白鷹町)

「緑燃ゆ 北の大地に 結ば まなす国体」バレーボール大  
友情を」を大会スローガンに、会場地である。雄大な土地  
第二十六回全国スポーツ少年 澄み切った空気、濃い緑の平  
大会が北海道深川市・北海道 原と北海道らしさに溢れた街  
スポーツセンターを中心に七 である。  
月二十七日から八月一日まで 大会の六日間は、登山での  
六日間にわたり開催された。 山頂の霧を除けば好天に恵ま  
全国から集まった団員・指 れた大会であった。活動は分  
導者三百五十三名がスポーツ 団単位であり、分団行動の先  
活動を中心に研修を行い、本 頭には常に分団旗が掲げられ、  
県からは団員・指導者の六人 その下に思い思いに作制した  
が参加し全国の仲間と交流を 班旗がおかれ常に分団、班単  
深めた。 位で文化、スポーツ活動を  
深川市は人口三万人で「は 行った。



▲常陸宮妃を訪ねて

文化的活動では、ウツ  
ドクラフト(木工作)で、  
りすや熊を形どった鉛筆  
立ての制作である。時間  
の関係から、半完成品を  
使い、仕上げの工程に挑  
戦した。その折、お成り  
になった常陸宮殿下、同  
妃殿下と直接お話をする  
機会に恵まれたのは好運  
であった。  
また、スポーツ講演は、

## 楽しく遊べる陸上

浜田第四スポーツ少年団(酒田市)

指導者 吉村栄吉



昭和四十一年七月、浜田ス  
ポーツ少年団が複合スポーツ  
少年団として誕生してから、  
今日まで二十三年間、体力づ  
くりを主体にして、走ること  
の楽しさをゲームの中に取り  
入れ、団員達が学校体育の時  
間では味わえない、なおかつ  
成長期にある団員に心地よい  
疲労感と興味、校外生活指導  
を兼ねながら活動してきた。  
小三年以上の団員三十六名、  
指導者三名、年毎に増え続け  
ている。  
練習メニューは、陸上の基  
本練習、レクリエーション。  
用具備品……スターティング  
ブロック四基、アルミバトン  
六本、木製二本、ユニホーム  
六十着等、全て学校に寄贈し、  
お互いに共用している。又、  
学校側の御理解により、学校  
体育と社会体育(スポーツ少  
年団)とは、お互いに連携を  
密にしながら、指導態勢の方  
全を期するよう心掛けている  
のが現状である。  
― 走ることの楽しさとは何  
か?―このことを団員に理解  
してもらうには、どうすれば  
良いか、指導者にとつては大  
きな問題も、団員に接してみ  
ると何等心配もなかった。団  
員達の意欲は大人と違った純  
なものであり、「目で見て、耳  
で聞く」団員と触れ合いなが  
らのボディ指導、これを基本  
としている。団員から指導者  
自身が、ぐいぐい引張られ、  
飽くる事を知らず指導者がバ



▲自炊を体験して

モントリオールオリンピック女子バレーボール金メダリスト松田紀子さんの講演である。目標を持ち努力をすることの大切さや、汗と涙で得た金メダルを世界の名セッターに育ててくれた先輩セッター「まめちゃん」に半分あげた話等、会場を埋め尽くした深川市民、団員達に大きな感動を与えた。

一方、スポーツ活動では、問題を解きながら進む五キロのウォークラリー、団員が一丸となり団の栄光のために協力しあい全力で挑戦したスポーツフェスティバル。また、

三時半に起床し眠い目をこすりながら、全行程十三キロほどを落伍することなく頑張った北海道最高峰旭岳(二、二九〇メートル)の登山等、自由時間のないハードなスケジュールを消化した。

しかし、苦しい事ばかりではない。深川市のスポーツ少年団のお父さん、お母さん方が、北海道の思い出にと野外

菅原 俊之(寒河江市)

東北ブロックスポーツ少年大会に参加して  
寒河江中部小やまぼうしスポーツ少年団

スポーツのコーチから全国大会のことについて話があった時、とてもおもしろそうだったので行きたかったのが、三年生が行くことになったので、ほかの団員たちと仲良くなれるかと心配でした。

去年までは、県大会に行かないかと言われても、いろいろ理由をつけて、行かなかつた。しかし、なぜか今年とは

ウキビ、メロンを腹一杯食べたことは忘れることの出来ない楽しい思い出だ。そして全国の友と語り語り合ったフアイヤーストーム等は青春の思い出の一ページとなる。

また、忘れてはならないのは六日間の大会期間中、団員と寝食を共にし、側面から団員を支援し大成功に導いてくれた北海道リリーダー会の人達の活躍である。心よりお礼を申し上げたい。おかげで全国の友と友情の輪を広げて無事帰ることができた。

でも行きたくなかった。行くまでは、早く行きたくて、ねむれないような状態でした。でも、ほかの所から来る団員たちと仲良くなれるかと心配でした。

テントに寝る予定であったが、雨で柔剣道場に泊まることになった。テントに寝れなかったのは残念だったけれど、柔剣道場にみんな寝たと

スポーツを愛し続ける子供

尾花沢スポーツクラブ(尾花沢市)  
指導者 瀧浪 敦

テ気味になる時もある。この間、スタートとは、ストライド走法、ピッチ走法、素早い腕振り、腿上げ、バトンパス等を覚え、素晴らしい走法が自然に出来上がって、心も身も自ずと鍛えられて、素晴らしい成果が発足以来の大きな足跡となり団の歴史を刻んでいる。最近では、団員達が力を発揮できる場も多くなり、小学校の陸上大会などが開かれ、浜田の陸上注目されて来たとは言え、このことは昔日の伝統に培われた学校とPTA、父兄の協力の賜であり、



▲腿上げをしっかりとやって

又、スポ少と学校とが一丸となった指導態勢の中に育まれた団員達の逞しい力が生み出した快挙でもあります。

尾花沢スポーツクラブは、「よりスポーツを愛する子供」の育成を第一の目標にして、各種スポーツに取り組んでいます。尾花沢市が、第四十七回国民体育大会のハンドボール競技少年男女の会場地ということもあり、カリキュラムにハンドボールを取り入れら







▲班行動の合い間に乾杯

戦。湖畔を一周を学んだ。最初は恐る恐る水するポイントハをかいていた子供たちも一、イキング。松林二時間でもかなり上達。久しぶりの顔顔をのぞかせた夏の太陽の下で、青い湖面を滑るよゲーム。うに渡る団員もいた。

キャンプファイヤーには、カヌー指導のためを育成するという目的にふさに来てくれた舟形スポ少の仲間も飛び入り参加。思い出深いもの活動の中でも、特にカヌーは団員のほとんどが初体験。舟形カヌースポ少少年団の指導で、乗り降りからパドルの操作などの基本

動が終ろうとしている。残るは楽しみにしているキャンプファイヤーである。

七月二十九日から三十一日まで尾花沢市徳良湖キャンプ場を会場に開かれた県スポーツ少年団大会。県内各地のスポーツ少年団の代表百名が参加して行なわれた。

二晩ともテント泊、食事は、五回中四回が炊飯活動である。活動内容も、徳良湖の自然をフルに活用したものを企画した。

一日目：歓迎の夕べでの、本場の花笠踊りの体験。  
二日目：徳良湖でカヌーに挑

## 「西ドイツスポーツユース」を受け入れて

最上支部長 斎藤 慎一郎 (新庄市)

西ドイツの友達が、自然と人情味あふれる祭りの古里新庄に来て、交流が始まったのは七月二十三日であった。

言葉、食べ物、習慣の違い等で、不安顔いっぱいオリエンテーションだった。一夜明けた彼らは、和気あ

いあいの中で東山焼夷習と茶会体験に真剣に取り組んだ。高校生との柔道の交流は、さすがに柔道グループだけあって生き生きとした真摯な態度であった。夜はスポーツ少年団員とのゲームや歌での交流であったが、お互いに言葉は

町で開催されます。この大会を町・学校・協会・父母の会等の協力で成功に向けて頑張っているところ です。

### ◆今年度成績

○中学生

・全中大会

優勝 二名

準優勝 一名

○高校生

・県大会

優勝

・東北大会 優勝一・出場四

## スポーツ少年団を指導して

栄光剣道スポーツ少年団(西川町) 指導者 最上 修一郎

少年団の指導者となって二十年になるうとしているが、十年程前、ある父兄から次のような手紙が届いたので紹介しよう。

「校内成績では先生にご迷惑をおかけしています。こんな子供にも、自主的にうちこめる只ひとつ得意なのは剣道。部活動の外に、毎週木曜



▲ウェイトを強くアピールしたい

不要だった。

三日目の川での魚とりやバーベキューは、童心にかえって大はしやぎだった。

四日目は俳人の服装で芭蕉路を歩く、ゲーテとの比較であつた。昼食時にもちつきを体験した。「なつとうもち」は抵抗あつたが「ぞうにもち」は喜んで食べてくれた。猿羽

根山で相撲の練習を見学したが、がまんしきれず中学生チャンピオンに挑戦。チャレンジ精神に敬服した。

五日目は最上川舟下り、羽黒山登山等と日本文化に意欲的に取り組んでくれた。



▲俳人の服装もたのしいものです

六日目は民泊先のプログラムであつた。水泳に行つた者

スポ少と交流した者、グルメに挑戦した者、五軒のホームステイ受け入れの方々の心温まるプログラムに感激した。

最後の夜のお別れパーティーは日本の古典芸能や歌、花笠おどりをみんなで踊つて最高潮に達した。

最終日は、民泊先の家族との別れがづらいといった顔が印象的であつた。

積極性やチャレンジ精神の豊富な彼らとの心と心を結ぶ思い出深い行事であつた。

今も手紙の交換で交流が続いている。この交流事業に携

### 想像以上だった西ドイツ

真室川スキースポーツ少年団

団員 高橋 陽子(真室川町)

同時交流が終了して半年ほど経つた今でも、西ドイツそしてそこでの生活の感想を聞かれることがしばしばあります。一言で言つてしまえば、「楽しかった。」ということにつきるのですが、やはり私にとって、三週間の西ドイツでの経験はそれだけでは表せな

いものがあつました。西ドイツでの三週間は、思つていた以上に多くのことを学ぶことができました。

まず少年団については、根本的な考え方がかなり違つて



▶相撲にもチャレンジ わつた皆さんダンクセッション。

しみにたえている様子、このように精神的に成長したのも、日夜ご指導下さる会員の皆さんの賜と感謝しております。

この手紙を拝見しながら指導者として、もっと頑張らな金の心配や試合の際の車の手配等、本当に恵まれた環境の中で指導を受けられる子供達は幸せです。悔いのない充実した中学時代の足跡になる事と確信しております。剣友会

の皆さんありがとうございます。この手紙を拝見しながら指導者として、もっと頑張らな金の心配や試合の際の車の手配等、本当に恵まれた環境の中で指導を受けられる子供達は幸せです。悔いのない充実した中学時代の足跡になる事と確信しております。剣友会



▲精神の鍛練も大きな目的

### ホッケー競技の楽しさを!!

小松ホッケースポーツ少年団(川西町)

指導者 柴田 卓朗

わが小松ホッケースポーツ少年団は、昭和六十三年六月に小松小学校の生徒を対象に発足した少年団です。結成以前はユニホッケー(プラス

チック製の用具を使用し、室内でおこなう競技)を主体とした愛好会的な活動をしており、わが少年団の目標は、



▲マンハイムで、仙台のすずめ踊り、剣道の型などを披露してもよろこばれました

## わがまちの指導者



鈴木なぎなたスポーツ少年団  
代表指導者 秋葉 和美

べにばな国体山形市開催種目である「なぎなた競技」の普及発展に日頃誠心誠意努力されております。

スポ少登録は63年度からですが、国体開催内定からさっそく地域の子供たちと共に活動し、今では多くの小中学生優秀選手を育てるまでにいたっております。そのかいあって第四中学校には、なぎなたクラブが誕生するにいたりました。また競技力の向上のみに終わることなく、お祭りでの奉納演技等、地区行事にも積極的に参加し、団員の健全育成にも努力しております。



小国町柔道スポーツ少年団  
代表指導者 多勢 信人

団の結成は、8年とまだ日は浅いが、指導者の面々はいずれも、中学時代に全国大会等へ出場した選手達である。指導者が団員達の心をつかみ、一丸となれるのは、皆、同じ汗と涙を流し、同じ目標を持っているからであろう。「今年は小学生の柔道スポ少が復活し、内容も更に充実してきている。柔道を通じて人間の修行を。」と、30歳の彼は静かに燃えている。柔道をこよなく愛する素晴らしい指導者である。

でも若者から老人までの全てが、いわゆる団員であり、スポーツを楽しんでいました。そして、私達のお世話をして下さった方々も若い方が中心で、日本のように指導者を中心とした大人の管理下で活動を行っているのは、ずいぶん違っているようでした。

それから環境の良さなどもあげられます。私達の訪れた地域の色々な種類の少年団を

見せていただいたのですが、どのクラブも、十分な練習場と休息場所をもっていて、スポーツを行うだけでなく、団員の交流などもスムーズにいくのではないかと思います。また、ドイツという国の性質について、私はとてもすばらしいと思いました。私は団員の一人から両腕のない友達を紹介されました。しかし、その人はとても陽気で、又周

りの人々も温かく接しています。街では、そういう人々をあちこちで見かけることができたのですが、そういう人達への社会環境は日本が見習うべきだと思いました。

この三週間で、私自身とても考えが大人になったと思います。そして、山形県でも同時交流に参加する仲間が増えり、ダー会活動がもっと活発になればいいと思いました。これからも、私自身一人のリーダーとして今回のことをバネにして頑張りたいと思います。

一、ホッケー競技を理解する。  
一、ホッケー競技の楽しさを知る。  
一、団員同士仲良くなる。  
一、集団活動に  
なれる。  
以上四本の柱を立て、町ホッケー大会等に参加しながら、更にわが少年団「べにばな国体」での活躍を目指し、がんばります。



▲町ホッケー大会の表彰式から



# 開かれたスポーツ少年団

稲穂サッカースポーツ少年団

代表指導者 村田久忠

## 一、概要

昭和四十五年五月一日、鶴

岡市第五学区に①仲間づくり  
②自然とのふれあい③体力づ  
くりを活動の三つの柱に、地



▲スポーツとレクリエーション活動を上手に取り入れて

域に根ざしたスポーツクラブ  
を目指し結成した。

昭和六十三年年度の団員数は

小学三年生から六年生まで二  
十八名、ほかに中学生・高校  
生リーダーが三十二名団員登  
録している。指導者は男十四  
名、女二名の計十六名が登録  
している。

少年団の運営経費は、年間  
七千円の団費と三千円の育成  
会費で運営しているが、その  
他、活動にかかる交通費や宿  
泊代、ユニフォーム代等につ  
いては別に集めている。

## 二、組織

育成会は、昭和五十年、  
全国サッカー少年団大会に出  
場を機に、親を中心に結成さ  
れ、団活動の強力な推進役と  
なっている。育成会も年々充  
実し、定期的な役員会の開催  
や連絡網の整備、また、行事

あるごとに反省会を行い、父  
母指導者の親睦を深めること  
により、全団員の父兄が「子  
供を育てよう、指導者を応援  
しよう、自分たちもスポーツ  
をしよう」という気構えに溢  
れている。

稲穂ファミリースポーツク  
ラブは、子供たちの応援や親  
子レクリエーション活動を通  
じ、自分たちもスポーツをし  
ようと生まれたクラブである。  
毎週金曜日の定期活動のほか  
に、おはようソフトボールに  
参加する稲穂ファイターズ、  
女子サッカーチームの稲穂レ  
ディース、社会人サッカーに  
参加しているFC稲穂、モー  
ニング野球チームの稲穂リ  
ダースなどもそれぞれ活動し  
ている。

リーダー会は、中学生以上  
の卒団員有志で組織され、少  
年団活動への協力、地域活動

への参加、相互の研修親睦を  
目的に結成され、少年団の指  
導もリーダー会を中心に進め  
られている。また、日独同時  
交流、中央リーダーズスクール、  
全国・東北スポーツ少年大会  
などのリーダー研修へも積極  
的に派遣している。

## 三、活動内容

稲穂会は、スポーツ少年団  
を卒団した子供の親が、卒団  
してからも一緒に活動したい  
と自主的に結成された団体で  
あり、スポーツ少年団及び  
リーダー会の後援団体でもあ  
る。また、おはようソフトボ  
ールに参加する稲穂ファイター  
ズの主力メンバーでもある。

稲穂会館協力は、稲穂  
ファミリーの寄りどころ、ま  
た、活動の拠点として昭和六  
十一年八月設置した稲穂会館  
の維持、運営を目的としてい  
る。

以上の組織を図示すると図  
I のようになる。

活動は主に学校施設を使い、  
年間を通じ火、水曜日午後四  
時～六時、土曜日午後二時  
～五時、日曜日午前九時～正

午に活動している。

活動内容は、サッカーを主  
スポーツとし、大会への参加  
と数多くの交歓、交流試合、  
ほかに季節に応じてのスポー  
ツ・レクリエーション活動で  
ある。具体的にはアドベン  
チャーゲーム、魚取り、野外  
料理、キャンプファイヤー、  
ハイキングなど野外活動を中  
心とした二泊三日の夏合宿、  
サイクリング、いも煮会、運  
動会、羽根つき大会、体力テ  
スト、スキー教室、親子サッ  
カー、清掃奉仕活動などを実  
施している。

特徴ある活動として  
① 稲穂杯招待少年サッカー大  
会  
サッカーレベルの向上と少  
年団相互の交流を目的として  
開催し、今年の第九回大会に  
は東京、千葉、新潟、岩手、  
宮城、秋田の各県や山形市、  
地元などから十六チームが参  
加して行われ、参加団員は地  
元チームの団員宅へホームス  
テイをし、団員同志はもちろ  
ん、家族での交流、指導者の  
交流も積極的に行っている。

② 稲穂ファミリー合同行事

団員、親、リーダー、稲穂  
会の全員を対象として次の行  
事を開催している。  
・ 稲穂夏まつり  
・ 町対抗トリムバレー及び  
インディアアカ大会  
・ 大運動会(屋内)  
・ 大忘年会  
・ ボーリング大会

四、二つの母集団

本団は、稲穂サッカース  
ポーツ少年団育成会と第五学  
区スポーツ少年団連絡協会の  
二つの母集団をもっている。  
本学区には、本団のほかバ  
スケツトボール、野球、剣道、  
バレーボールの四つの少年団  
があり、それぞれに団活動を  
推進する育成組織がある。第  
五学区スポーツ少年団連絡協  
議会とは、各団の指導者、父  
兄代表五名ずつと学校、PT  
A、体協、地域などの代表四  
十名が集まり、学校、地域、  
スポーツ少年団の行事日程や  
会場調整、相互の情報交換、  
親睦を目的として結成され、  
年六回の会議を持ち、学区ス  
ポーツ少年団活動推進の大き  
な力となっている。

五、おわりに

スポーツ少年団とは、少年  
たちが自由時間に地域社会で  
スポーツを中心として活動す  
るグループである。

指導者もボランティアで活  
動している人が多く、万が一  
のときのすべての責任を指導  
者に負わせるわけには行か  
ない。

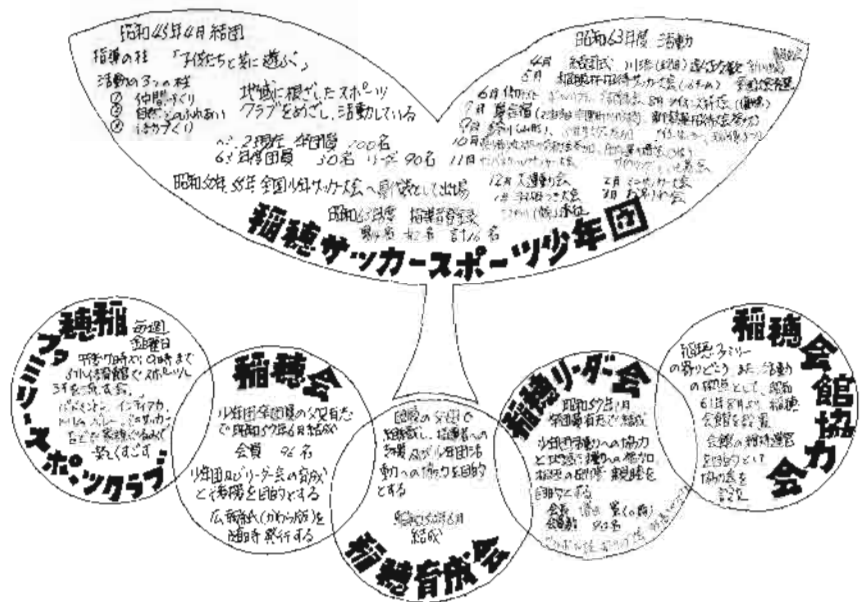
そのためにも、日頃から少  
年団の経営や活動に親からも  
参加してもらう必要がある。  
一人一人の親から、できる役  
を持つてもらおうとか、親子で  
のスポーツ活動を行うとか、  
日常活動のPRのための広報  
の定期発行なども大切である  
と思う。

すべての親から、指導者と  
同じ立場で活動してもらえれ  
ば、すばらしい少年団活動が  
展開できると思う。

指導者として、団員一人ひ  
とりから立派な社会人となっ  
てもらいたい。いちはばんうれ  
しい。

今後とも、地域に根ざした  
スポーツクラブを目指して活  
動を展開していきたい。

稲穂ファミリー組織図



<米沢市>

本間 和重  
 高山 孝吉  
 関谷 知樹  
 吾住 茂  
 古川 信浩  
 古川 光子  
 竹田 トキ  
 後藤 紀夫  
 加藤 久雄  
 坂野 洋一  
 坂野 賢一  
 加藤 光子  
 五十嵐 政一  
 斎藤 勝広  
 進藤 誠  
 仁科 盛信

<南陽市>

高橋 正一  
 佐藤 雪男  
 菅野 秀和  
 歌丸 良機  
 加藤 精一  
 滝沢 徹  
 遠藤 信一  
 淀野 要一  
 山田美智子  
 山田 重義  
 中村 和彦  
 竹田 義雄  
 落合 孝一  
 高橋 正敏  
 二瓶 広

永嶋千賀子  
 渡辺 峰雄  
 中村 芳雄  
 登坂 孝  
 山口 幸  
 山田 香  
 山口 清  
 山口 芳弘  
 加藤 賢一  
 高橋 正典  
 島貫 孝栄  
 高野 祐次  
 武田 正志  
 高橋 哲雄  
 高梨 勝男

<高島町>

皆川 満裕  
 東海林 淳子  
 高橋 博  
 近野 浩一  
 鈴木 利和  
 斎藤 久雄

<朝日村>

大館 幸  
 渡部 洋一  
 渡部 芳勝  
 小野寺洋三  
 渡部 力雄

<柳引町>

斎藤 司  
 阿部 喜之  
 鈴木 善一

<長井市>

安部 俊之  
 鈴木 一則  
 加藤 政宏  
 溝口 健一  
 井上 清  
 菅野 信夫  
 今野 明  
 高橋 清次  
 渋谷 謙一

鈴木 正  
 渡部 恭子  
 蒲生 剛一  
 平 晴美  
 青木 清昇  
 高橋 政敏  
 八鐵 秀晴  
 熱海 清一  
 五十嵐英治

<余目町>

中村 忠  
 五十嵐良一  
 阿部 伸世  
 秋庭 道雄  
 甲斐 裕司  
 渡会 豊

<藤島町>

佐藤 敏志  
 出中 寿一  
 斎藤 孝  
 須貝 健二  
 斎藤 又一

<白旗町>

塚原 信一  
 田畀 勝良  
 本木 伸一  
 梅津 秀明  
 斎藤 重雄  
 鈴木 昌志  
 瀧沢 忠儀  
 新野 吉彦  
 小松 仁介  
 村上 隆

高木 義明  
 寒河江 智陽夫  
 鈴木 惣一  
 菊地 利雄  
 新野喜代三  
 渋谷 健一  
 竹田 繁良  
 石川 重二  
 小口 修

<鶴岡市>

阿部 信行  
 佐藤 孝司  
 伊藤 孝  
 中村 清  
 菅原 良和  
 五十嵐 典子  
 渡辺 義郎  
 工藤 芳之  
 鈴木 美穂  
 板垣 努  
 佐々木広衛

板垣正幸  
 佐藤 丈彦  
 安田 勇治  
 遠藤 一良  
 井上 真  
 村田 潤一  
 伊藤龍一郎  
 後藤 克人  
 白川 徳三  
 堀井 茂喜  
 逸見 耕

嶋屋 艶  
 長谷川 修  
 佐藤 俊一  
 阿部 三成  
 難波 勇  
 成沢 武彦  
 松浦 芳明  
 斎藤 茂  
 佐藤 元也  
 須田 佐知  
 長南 寛

<羽黒町>

佐藤 次郎  
 丸山 寿身  
 岡部 裕司  
 佐藤 啓  
 榎本 重彦  
 岡部 範雄  
 松本 亘  
 岡部 辰巳  
 阿部 一信  
 注可 雅弥  
 本木 勝美  
 今井 忠次  
 丸山 成人  
 三浦 常彦

<三川町>

山科 功  
 野沢 伸治  
 菅原 正  
 折原 和男  
 佐藤 公勇  
 太田 伸吉  
 斎藤 博昭  
 菅原 俊一  
 伊藤 一誠  
 五十嵐 恵治  
 小高 寛  
 近藤 真士

<温海町>

佐藤 俊幸  
 本間 照明  
 土岐 賢一  
 佐藤 清司  
 白崎 和夫  
 白崎 茂也  
 本間 長志  
 本間 健一  
 伊藤 豊也  
 野尻 靖和  
 佐藤 敏尚  
 佐藤 眞  
 伊藤 栄一  
 成田 慶一  
 長谷川 徳夫  
 佐藤 勝洋  
 斎藤 昌志  
 新谷 渡子  
 渡部 敏  
 菅原 千恵  
 注可 一男

<酒田市>

相馬 茂  
 渋谷 直由  
 鈴木 清治  
 古木 悟  
 木村 昭  
 奥山 次郎  
 佐藤 丈俊  
 佐藤 武  
 阿部 恵子  
 早坂 句子  
 斎藤 功  
 池田八重子  
 小柴 和夫  
 小野 健一  
 松浦 孝夫  
 斎藤 岡治  
 尾形 憲雄

<平田町>

安田 幸三  
 加藤 弘良  
 佐藤 潔  
 佐原 穂章  
 魚住 寿  
 伊藤 稔  
 池田 定光  
 黒川 健  
 涌井 寛雄  
 阿部 豊  
 尾形 政見  
 池田 善彦  
 阿部 英晴  
 佐藤 雅樹  
 鈴木 則夫  
 佐藤 秀男

<立川町>

石黒 昌弘  
 石黒 茂

<立川町>

岩波 勝雄



平成2年度以降、各単位団に1名以上の認定指導員を置かねばならない『1団1認定指導員必置制』となります。

認定指導員

昭和63年度  
指導員資格  
取得者

育成指導員

〈新規〉

三川町	佐藤	茂
平田町	石川	完
山形市	加藤	啓一
舟形町	大類	正純
米沢市	青木	建一

〈更新〉

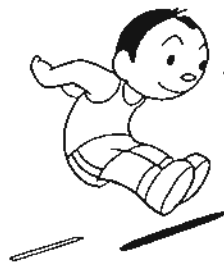
小国町	斎藤	剛八
長井市	佐竹	陽一
朝日村	洪谷	幸一
尾花沢市	森谷	健
"	溝越	久雄

中央リーダーズスクール  
(シニア・コース)

羽黒工 鈴木 渉

山形県ジュニアリーダー

城北卓球	酒井	賢世
"	畑田	博子
山形ピック ボクシング	菊地	茂寿
長井柔道	土屋	勲
"	四釜	洋明
米沢飛込ク	鶴巻	優子
"	長谷川	幸江
"	太田	潤子
南陽空手	斎藤	茂信
"	菊地	淳弥
青葉剣道	加藤	清志



〈山形市〉

佐藤	信久	山田	国男
有海	長一	古城	誠
湯川	博夫	阿部	太彦
黒田	悦夫	森谷	和雄
松本	二郎	新野	浩太
武田	淳一	佐々木	貞江
太田	清栄	原田	政律
関	達郎	斎藤	良伸
山本	一重	山岸	雅史
茨木	征夫	大木	了
片桐	実	川越	進
阿部	秀雄	会田	正一
鈴木	一夫	大原	一徳
高橋	秀利	金子	貞二
安達	仁宏	小出	毅
布施	幸一	高内	義博
新関	清吉	山口	和雄
開沼	博志	長谷川	誠
吉田	栄司	梅津	政廣
松本	繁矢	本間	武
山本	幸枝	佐藤	惣一
矢口	健一	木村	政雄
白田	信司	尾形	洋一
岡崎	政司	山口	英治
鏡	憲男	佐藤	幸紀
日下部	繁也	富塚	敬一
洪江	栄一		

〈上市市〉

平吹	正晃
永田	寛
高橋	克弘
木村	和彦
門口	嵩藏
菅野	仁雄
清野	美智子
三浦	栄子
仲田	尚行

〈山辺町〉

渡辺	付明
竹井	博文
武田	純一
武田	公晃
吉田	貞夫
後藤	

〈中山町〉

武田	隆良
佐東	幸二
工藤	勝美

〈朝日町〉

神	寿太
藤田	康徳
五十嵐	義一
鈴木	昇
清野	文一
岡崎	ひとみ
滝川	久恵
鈴木	正己

〈天童市〉

工藤	豊和
三沢	一弘
松田	里志
斎藤	勉
鈴木	剛
土屋	寿裕
佐藤	勝雄
吉田	浩昭
加藤	啓一
佐藤	新一
林	東一
今野	秀俊
渡辺	秀正
石山	敏

松田	正己
森川	敏雄
鈴木	啓
大谷	敦司
鈴木	幹男
各和	達二
澤	和彦
高橋	護
大泉	義美

〈村山市〉

小林	勉
高谷	秀磨

〈尾花沢市〉

鈴木	俊明
石塚	清
三浦	茂一
三浦	敏定
三浦	雅彦
奥山	孝子
渡辺	香里
今笠	保江

〈大石田町〉

木村	和夫
奥山	光男
奥山	宏
尾内	蔵之助

〈河北町〉

渡辺	勝
後藤	珠水
高橋	美根子
吉田	恵里

〈東根市〉

石橋	政身
植松	和夫
大越	芳太郎
鹿内	重夫
奥山	政四郎
奥山	佳津子
太田	壮一
青柳	初夫
太田	春夫
早坂	孝夫
村川	伸子
三浦	敏
岡田	義美
増川	繁雄

青木	薫
阿部	清雄
横尾	竹男
芦野	常美
阿部	多美子
保科	章子
笹原	多美雄
大場	英雄
福田	忠志
志藤	秀夫
遠藤	郁夫
遠藤	奈美子
佐藤	芳子

〈最上町〉

庄司	靖志
菅嶋	常也

〈舟形町〉

沼沢	忠茂
海藤	克美

〈寒河江市〉

石山	吉男
前山	信義
大江	芳信
渡辺	正人
後藤	善幸
杉沼	大安
渡辺	茂美
高子	孝
横山	卓司
清野	正博
渡辺	政信
阿部	俊司
黒田	幸藏

〈新庄市〉

土屋	信夫
吉田	浩志
水戸部	修治
荒川	正
樋渡	雄一
叶内	利昭
高橋	俊光
沼沢	清一
阿部	良子
菅	健
高橋	安幸
星川	威雄
相沢	宣雄

〈金山町〉

五十嵐	優一
松田	尚弥
小野	敏之
早坂	秀一
伊藤	和幸

栗田	一直
正野	晋一
柴田	清志
三上	榮子
柴田	佐一

〈鮭川村〉

阿部	利一
高橋	正行

# 昭和63年度 山形県スポーツ少年 団表彰

## 功労者と 優良団体

本年度の功労者、優良団体は次のとおりです。

### ●功労者

- ▼榊 寿太 (朝日町)
- ▼半田 信 (戸沢村)

### ●優良団

- ▼阿部今朝雄 (新庄市)
- ▼金子 十郎 (白鷹町)
- ▼後藤興三郎 (平田町)
- ▼霞城柔道スポーツ少年団 (山形市)
- ▼中郡剣道スポーツ少年団 (川西町)
- ▼長井小桜剣道スポーツ少年団 (長井市)
- ▼榊引西ミニバスケットスポーツ少年団 (榊引町)
- ▼遷喬剣道スポーツ少年団 (藤島町)

## 市町村の動き

本村には、五つの複合種目の単位団(小学校区、団員数三百五十八名、指導員六十五名)がある。競技力の向上と共にスポーツに親しむことを将来につなげていくため、又仲間づくりのため、母集団の絶大な協力の下、本村独自の交流大会も継続的に開かれて

いる。  
「べにばな国体」の自転車ロード競技の会場となる本村は、優秀な選手も輩出している。「べにばな国体」に向け、

## 戸沢村

成績の上がつてきている野球、バレーボール、陸上等のスポーツの活動を積み上げ、強化しがんばっている。



▲べにばな国体に向け成績向上

### 平成元年度 山形県スポーツ少年団行事予定

	事業名	期日	会場	
大会	県内	・第11回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会県予選会 ・第25回山形県スポーツ少年団大会 ・全日本少年サッカー大会県予選会 ・山形県少年少女スポーツ交流大会	山形市 羽未山形 10月1日	
	県外	・第20回東北ブロックスポーツ少年団大会 ・第25回全国スポーツ少年団交流大会 ・第13回全日本少年サッカー大会 ・第11回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 ・第11回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会西ブロック大会 ・第11回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 ・第9回東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	宮城 鹿島 東東京 滋賀 雄物川町(秋田) 愛知 福山 山形 岩手 3月28日~30日	
		・サッカー ・柔道 ・ミニバスケット	7月30日~8月1日 12月9日~10日 3月28日~30日	福島 山形 岩手
		・第12回全国スポーツ少年団競技別交流大会 ・卓球 ・剣道	3月下旬 3月下旬	東京 東京
研修関係	県内	・認定指導員養成講習会(県内6地区) ・県ジュニアリーダースクール ・県指導者研修会 ・市町村スポ少スポ安事務担当者研修会 ・育成母集団研修会	東南村山(2ヶ所) 西置賜・最上(2ヶ所) 庄内 北山形市 米山形市 米山形市 米山形市	
	県外	・中央リーダースクール(シニア) ・育成指導員認定研修会 ・認定指導員養成講習会	8/17~8/20、3月 10月21日~22日 10月22日~25日	秋田 山形 山形
交流	県内	地域交流促進事業	5月~2月	北村山 東南置賜
	県	・第16回日独スポーツ少年団同時交流	7月30日~8月5日	西村山
会議	県	・県スポーツ少年団表彰	3月中旬	米山形市
	県内	・県スポーツ少年団代議員会	5月下旬	山形市
		・県スポーツ少年団第1回本部員会	5月下旬	山形市
		・県スポーツ少年団第2回本部員会	2月中旬	山形市
		・県スポーツ少年団専門委員会	6月初旬	山形市
		・県スポーツ少年団指導者協議会	6月初旬	山形市
他	・全国指導者協議会 ・東北ブロック指導者研究協議会 ・北海道、東北ブロック会議	12月上旬 2月中旬	東京 青森 山形市	

日本スポーツ少年団登録の改訂：日本スポーツ少年団においては、スポーツ界を取巻く社会環境の変化に対応し、特に要望の強い指導者の資質の向上を重点に各般にわたり一層の充実を図るため、平成元年度から、団員1人年額現行の100円を200円に、指導者1人年額300円を500円にそれぞれ増額されます。